

「tovo」について

「tovo/トヴォ」は東日本大震災によって、親を失った子どもたちを、青森から支援するプロジェクトです。

チャリティーグッズを制作・販売し、その経費を除いた全ての収益を、長期的な子どもたちの心のケアの為、あしなが育英会へ継続的に寄付し、青森から「あなたがたのそばにいつもいますよ」と伝え続けます。

10年間の活動を目標にしています。おかげさまで、**2011年6月から2016年4月30日現在までの総寄付金は、「¥4,179,563-」**となりました。

引き続きのご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。

※50号達成 フリーペーパー「tovo plus」



「tovo plus」は、tovoの発行する月刊のフリーペーパーです。月に1度、青森県内のご家族のお話を伺い、311以降の考え方や生活の変化を追っています。100号、100ヶ月、100家族が目標です。

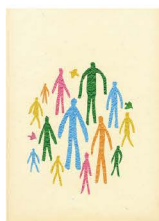
※1年間（12号）の定期購読（1,800円）を承ります。ショップサイトよりお申し込みください。



「ブックログのペーパー」にてPDF配信中！

<http://p.booklog.jp/users/tovo2011>

ウェブ連載中 3.11を覚えておく雑記帳。 (最終回)



なんとか帰宅し、携帯ラジオをつけっぱなしで眠った。停電で暖房は使えず、コートを着たまま布団に入った。数日間は友人や近所の人たちと、食べ物や水、カセットコンロやお風呂をシェアして過ごし、「自分一人で生きているわけではない」とつくづく実感した。ちなみに、私が住んでいた地域でガスが復旧したのは約一ヶ月後。県外のガス業者が復旧作業に来てくれた時は、言葉では表現しきれないほど感謝した。ただ生きるだけでも簡単ではない、ということを忘れずに謙虚に生活していきたい。

これを書いているのは、震災からちょうど5年目の2016年3月。復興をめぐる様々な対立や争いが絶えないことがとても辛く感じた5年間だった。意見が合わない人たちでも、遠い遠いどこかで間接的にお互いを助け合っていることもある（と思う）ので、価値観の違いで正面衝突せずそれぞれの選択を尊重し、ちょうどいい距離感を探ることが大事なのでは、と思う。

そのようにして、様々な人が穏やかに日々を暮らすために、工夫と試行錯誤をしていくことが3.11を忘れないことに繋がると思います。（しみみえこ）

そのようにして、様々な人が穏やかに日々を暮らすために、工夫と試行錯誤をしていくことが3.11を忘れないことに繋がると思います。（しみみえこ）

そのようにして、様々な人が穏やかに日々を暮らすために、工夫と試行錯誤をしていくことが3.11を忘れないことに繋がると思います。（しみみえこ）

缶バッジお取り扱い店（順不同／2016年6月1日現在）

【青森市】

A-Factory（柳川1-4-2）／kotabi コタビ（新町1丁目5-6）
大澤歯科医院（羽白沢44-8）／とき歯科（原別5丁目9-1）
oppen plaza sora（金沢1丁目5-2）
oppen plaza sena（石江渡52-22）
アトリエCANOE（桜川5-11）

【弘前市】

HOMEWORKS 4th（土手町79-1）
bambooforest（代官町20-1）／津軽工務社（元寺町52）
中国料理 豪華楼（駅前町7-5 おおまち共同パーク1F）

【黒石市】

木田理容所（内町29）
津軽黒石こみせ駅（中町5）

【上北郡】

西洋料理 ビストロ らあく（七戸町影津内34-10）
TBT英会話教室（東北町旭南1丁目322）

ボランティア大募集中！

活動開始より5年が経過し、ここで新しい風を入れてくれるボランティアを大募集中です！青森県内、県外問わず、残り5年を共に歩んでくださる方、是非ご連絡ください！
メール：小山田 和正（info@tovo2011.com）

チャリティーグッズ取扱店について

現在、チャリティーグッズ取扱店の募集は、一旦休止しております。ボランティアのみで運営しておりますので、取扱店が多くなればなるほど（もちろん、ありがたいことです！）、ボランティアの負担が大きくなり、なかなか対応できなくなっているのが現状です。その点をご理解の上、積極的に動いて頂ける場合のみ、ご協力頂いております。お気軽にメールにてお問い合わせください。
メール：小山田 和正（info@tovo2011.com）

青森市「アトリエカヌー」さん
ご協力のもと、種まきからはじめる

tovoの藍染めシリーズ

（2016年版）tovo 藍染めT-SHIRTS・てぬぐい

2016年6月末発売

天然藍染め製品の為、作業工程が非常に多く、限定枚数のみの販売になります。2016年中の再生産はありません（今年種まきをした藍は来年の製品になります）。ご希望の方は早めにお申し込みください。
※Tシャツ・てぬぐい／備後未定



トヴォの最新情報は以下で更新中です。

tovo2011.com SHOP shop.tovo2011.com @tovo2011
https://www.facebook.com/tovo2011 @tovo2011

【発行】代表：小山田 和正（mail: info@tovo2011.com）

住所：〒037-0056 青森県五所川原市末広町14-1

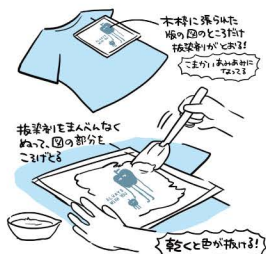
【表紙撮影】工藤 文昭【中開き／文・イラスト】坂本 小雪



青森市「アトリエ CANOE」の監修 tovo 藍染Tシャツ 作業体験レポート

さかもとゆき

tovoのお手伝いしている「さかもとゆき」と申します、どうもこんにちは。
さて 体験学習とかワークショップとかいう響きは、なんともワクワクするものですが、このたびのtovoの試み、藍染めTシャツの藍からつくる！
なんとも壮大なこのチャレンジ完遂までのみちを今後みなさまにご紹介していくにあたり、来年に向けての藍の種まきと、Tシャツの染め作業を体験してまいりました！つたない絵と文ですがここに記録させていただきます。



る！くらいの力強さ（笑）図の端っこまでまんべんなくこすりつけたら、ゆっくり版を剥がして乾かします。初めは半透明ですが乾くにつれ黄色がかってきて、最終的にちゃんと白く抜けました！

② 染め抜きを乾かしている間に、真っ白Tシャツの染め体験。

お店の奥に作業場があって、お邪魔すると染液が入った大きなバケツの存在感。この染液がなんとも独特な匂い…。個人的には『これは…ちくわ…！』という感想。一緒に体験した友人たちは『鶏のエサのにおい！』と言っていました（笑）竹内さんはこの染液の原料のすくもをつくる際、これの何十倍もの匂いの中で作業するそうで、慣れちゃってるとのこと（笑）さすが職人！



染液につける前に、染液をより定着させる為に、堅木の灰汁にシャツをひたします。それをギュ〜ッと絞ったら、空気に触れる面積をできるだけ少なくする為、広げずにそのまま染液のバケツにイン。染液になるべく空気を入れない為なんです。

染液は温度管理されていてイイあんばい。その中で手探りでシャツを広げて泳がせます。しっかり全体を広げたらそのまま水底に放置。ちなみに染液の発酵を促進させる為に糖分が必要だそうで、日本酒が入っているそう。糖分摂取に日本酒…ブルジョワ…。

③ その後、お店から離れた畑へとみんなで移動。すっかり夏めいた空は日差しがジリジリするほど晴天で絶好の畑日和。鎌くらいのサイズの鍬で、広い畑のうち3ウネを藍用に耕しました！

竹内さんが耕しているのを、やってみてもいいですか〜？とバトンタッチしてもらって挑戦してみると、耕す一直線上を踏まないように跨いで、鍬が鎌くらいのサイズなので、自然と身体も前のめりになり、そしたら自然とあいた片手が後ろにまわって腰をトントンしちゃうというマジック。腰とヒザにくる（笑）



蒔く種はとっても細かくて、うっかりすると風で飛びそうなほど。一粒はゴマよりも小さい感じ。それを数粒まとめて等間隔に蒔いていきます。こんなちっこいのから出る芽は、きつとちっこいのでしょうが、そこから成長して生い茂るんだから植物ってほんとうにすごい。



種を蒔く人の後土をかぶせる人が追って、風で飛ばないうちにスピーディーに植えていきます。このときあんまり土を固めると、か弱い芽が出てこれないので、かぶせる程度にします。



④ お昼休憩をはさんで作業は無事終了。

お昼ごはんは竹内さんの奥さんお手製のお弁当パーティーでした。さかもとは非常に食いしん坊なのでとてもしあわせでした。おにぎりってしあわせ。テントを張って休憩中、こんな来客もありました。ヌシサイズのミミズ。しかも複数。良い土してますね〜。



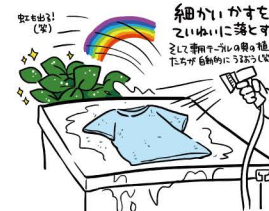
⑤ さてさて、畑仕事のあとは、水底に沈んだTシャツの救出（笑）専用の棒を使って取り出したら、布によく染み込めよう染液の濁った色に。ゾ、ゾンビ…（笑）よ〜くしぼってバケツから出したら外で広げて空気にさらします。空気に触れることで藍が定着するんだそうです。



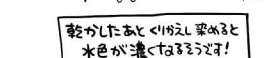
ここまでのシャツはどちらかというと緑っぽい、土っぽい色なんです。ここで青っぽさが感じられるようになります。その後、水瓶の中ですすいで余分なカスを落とすと青みがアップ！確信的な青み！水瓶から上げてもう1回別のタライで水を変えてすすぐと、イイ天気空と同じ、まさに空色に仕上がりました。まあ多少、多少ムラは出ましたけども（笑）



⑥ これだけすすいでもなかなかしびしい藍のカス。まだまだ落ちません。そこで庭先のテーブルに広げてシャワーで丁寧にカスを落としていきます。もちろん、ひっくり返して裏も。洗濯機でも落とせないそうなので入念に！容赦なくシャワーをぶちかますその先で、お庭の植物たちが潤いにあやかっていて、うまいことできてるなあと思いました（笑）



⑦ そうして、キレイな水色になったTシャツ。乾燥させて完成！ここまでの作業を数回繰り返せば、もっと濃い色にもできるそうです。



竹内さんの藍染めの方法は、日本の藍染めの黄金期である江戸時代から行われていた「天然藍灰汁醗酵建」というものだそうです。例の独特な匂いは醗酵してるからなんですね。化学薬品は一切使用せずに、天然の原料のみを用いて、手間暇かけて染め上げるこの方法は、自然志向の藍染め愛好家によって楽しまれています。とてもとても貴重な体験ができました！という過去形では終わらず。蒔いた藍の取材をこれから1年続けていくのだから、なんとも楽しみ！〜種まきからはじめるtovoの藍染め製品、ぜひ、皆さまお楽しみに！（続きはウェブにて随時更新）